



令和3年10月10日 神幸祭 奉仕者 集合写真

**新年のご挨拶**

宮司 澤田政泰

令和四年壬寅の新春を迎え、国運の隆昌ならびに皇室のご安泰はもとより、氏子崇敬者各位のご多幸、ご発展を心より祈念いたします。新型コロナウイルス感染症は、十月よりおさまりをみせ、第六波を警戒しながらも、徐々にではあります元々の生活様式に戻りつつあるのは嬉しい限りです。

三年毎に斎行しております「神幸祭」も令和二年はコロナ感染拡大の為、残念ながら中止いたしました。今年度こそは、何度も会議を重ね、行列規模や行程の縮小をして、感染対策も充分に行なった上斎行いたしました。お蔭様で天候にも恵まれ渡御の道々で地区の方のお迎えを受けながら、恙なく還幸する事ができました。斎行に当り、ご協力・ご奉仕いただきました関係各位の皆様には改めて御礼申し上げます。

さて、令和元年に当社は御鎮座一七〇年を記念して念願の大修造工事を行いました。美しくなった社殿を見ていますと、それまではあまり目につく様になりました。そこで、コロナ禍が参拝者が少ないこの夏を良い機会と参道石畳

改修工事をする事にいたしました。

この石畳は大正十二年に、菊正宗酒造(当時の社名は、本嘉納商店)の社長、嘉納治郎右衛門(秋香翁)からご寄進いただいたもので、鳥居より神社中段まで約四〇メートルの長さです。その時の宮司(私の祖父)から聞いた話では、雨の翌日に参拝にこられた秋香翁が泥濘に足を取られ「神様に怒られた、これは参拝の方の為に参道を整備しなさい」との神様からの御言葉や!と寄進を申し出られたそうです。(寄進記念の碑は鳥居前西側の玉垣の外にあります。S写真は四頁)

使用している敷石はもちろん御影石、両側の青色がかかった縁石は石の宝殿(兵庫県高砂市)で取れた竜山石です。今は、硬い石でも機械で単位の加工が可能ですが、百年近く前は職人が時間を掛けての手作業でしたので、大きさも揃いません。しかし、それが良い味になっておりますので、今回の敷き直しに当りましても其々の石に番号を付け、元の場所に収まる様に慎重に工事をしていただきました。凸凹がなくなり歩きやすくなって、多くの参拝者の方からお褒めの言葉を頂戴いたしました。これからは境内整備を進めてまいりますので宜しくお願致します。



ゆづるは神社社報

発行所  
弓弦羽神社社務所  
〒658-0048  
神戸市東灘区御影郡家2丁目9-27  
(旧地名:弓弦羽ノ森)  
TEL 078(851)2800  
FAX 078(851)2803  
URL=<http://www.yuzuruha-jinja.jp/>

印刷所  
(株)マテックス  
神戸市中央区筒井町2丁目1-38

月に一度は氏神様にお参りしましょう。

新車は必ず交通安全祈禱にご参拝ください。

<p>御影一筋 お好み焼き ゆくくら</p> <p>0120-05-5138</p> <p>御影本町4丁目5-10 078-821-5992</p>	<p>米工房 WONBOSAYE 高田屋</p> <p>0120-05-5138</p> <p>灘の地酒・ワイン 六甲ビール・こだわり焼酎 (山手幹線沿い山側)</p>	<p>MAISON DECOR MAISON DECOR メゾンデコール 東灘区御影郡家1丁目25-12 クレイスイビル1F PHONE 078-854-5810 FAX 078-854-5786 営業時間 AM10:30-PM6:30 水曜定休 美しい布のある暮らしを提案します</p>	<p>MIKAGE CLASE</p>
<p>株式会社 谷尾</p> <p>神戸営業所 神戸市兵庫区水木通6-3-4 TEL 078-575-7721 FAX 078-575-7621</p>	<p>おまかせください! のぼり 幕 法被 たすき 提灯 太鼓 その他祭礼用品</p> <p>御影で創業100年。昔ながらの町の床屋です。祖父の代から受け継いだ丁寧な施術でご奉仕致します。 〒658-0045 神戸市東灘区御影本町4-7-11 TEL.078-854-0498</p> <p>●営業時間(土・日・祝 ご予約優先制) 平日 9:00~19:30 土日祝 8:30~19:00 ●定休日:毎週月曜日 第2・3火曜日 ●最寄駅:阪神御影駅南側 徒歩1分</p>	<p>BarBer MORIOKA 床屋の技をご堪能ください。</p> <p>御影で創業100年。昔ながらの町の床屋です。祖父の代から受け継いだ丁寧な施術でご奉仕致します。 〒658-0045 神戸市東灘区御影本町4-7-11 TEL.078-854-0498</p> <p>●営業時間(土・日・祝 ご予約優先制) 平日 9:00~19:30 土日祝 8:30~19:00 ●定休日:毎週月曜日 第2・3火曜日 ●最寄駅:阪神御影駅南側 徒歩1分</p>	<p>創業元元年 御菓子司 虎屋吉末</p> <p>東灘区御影本町四丁目一 電話〇七八(八五)二四四四</p>
<p>YAKINIKU RESTAURANT 高麗飯店</p> <p>東灘区御影郡家1丁目21-15 TEL(078)842-3319 FAX(078)842-3398</p>	<p>池尻 池尻石材工業</p> <p>一神戸支店一 神戸市東灘区御影本町4-12-28 御影旨水館内 電話 078-851-3400 <a href="http://butsuji-ikejiri.com/">http://butsuji-ikejiri.com/</a></p>	<p>カラオケ・スナック Live</p> <p>神戸市東灘区御影本町4丁目12-7 電話(078)854-0499</p>	<p>現吉 阪神御影 御影中町1丁目4-15 TEL 851-2695</p>
<p>SANYO AIR SERVICE CO.,LTD 地球規模の感動を届けたい</p> <p>神戸No.1の店舗ネットワーク SAS 三洋航空サービス</p> <p><a href="http://www.travelsas.co.jp">http://www.travelsas.co.jp</a></p>	<p>御菓子司 常盤堂</p> <p>神戸市東灘区御影中町4丁目 電話 078(851)4677番代</p>	<p>総合レンタル衣裳 専門店</p> <p>ご婚礼・七五三・宮参り 成人式・卒業式・十三参り 弓弦羽神社指定店</p> <p>(株)スエヒロ衣裳 0798-33-1814 <a href="http://www.rental-suehiro.com/">http://www.rental-suehiro.com/</a></p>	<p>炭火焼 YUMC ZOU</p> <p>営業時間 17:00~23:00 月曜定休日 <a href="http://www.yumc-zou.com">www.yumc-zou.com</a></p>
<p>清酒 白鶴 時をこえ 親しみの心をおくる</p> <p>辛口ひとすじ 菊正宗 神戸・灘 菊正宗酒造株式会社 菊正宗ホームページ <a href="http://www.kikumasamune.co.jp">http://www.kikumasamune.co.jp</a></p>			



# 美保関沖事件とわたし 前編

全国教育関係神職協議会顧問  
全国熊野会鳥取県支部長  
勅願葦原神社 宮司  
船上神社 宮司

河合 鎮徳



はじめに、先回の号でお届けしました「蒙古襲来絵詞」(当時御物)は、この夏に国宝となりました。このことも含め、次の機会に紹介したいと思います。

さて、今回は「美保関沖事件」についてお話させてください。「美保関」は日本海に面した岬で、民謡「安来節」に歌われた「関の五本松」もあります。「二年神主」の風習などで民俗学的に有名な「美保神社」があり崇敬を集めています。(和歌森太郎『美保神社の研究』)

美保関沖事件は昭和二年八月二十四日午後十一時半頃に起こりました。一体どんな事件だったのでしょうか?そして、それは今を生きる私たちに何を示唆しているのでしょうか?

## 《日本を取り巻く状況》

日露戦争に勝利を収めた日本は世界の注目の的でした。世界の人々は日本の敗戦を予想しながらも見守る中、陸軍の旅順攻撃、そしてあの劇的な日本海海戦の圧倒的勝利は誰も考えませんでした。結果、西欧の植民地であったアジアの国々には夢と希望を与え、逆に西欧諸国には驚きと同時に警戒心を持たせました。ロシアの傷がこれ以上大きくならないようにと白人の国アメリカは、腹黒く、しかも人種差別者のセオドアルーズベルトが仲介役を買って出ました。「白人が優位に立つのは当然」という

## 《台風の中かで演習》

その後、演習を繰り返しながら舞鶴に入港のはずでした。八月二十四日午後十一時二十分、この日台風の接近で日本海は荒れ、六時の荒波の中で訓練が行われました。夜間無灯火で、しかも艦と艦の距離は数百メートルと決められ演習開始。甲軍(防御側)と乙軍(攻撃側)にわかれ、探照灯の照射でもって砲撃に変える事。魚雷は火薬ではなく砂を詰めたものを艦底を通過させることで魚雷命中とすること等があらかじめ決められていました。しかし、ここで本来防御側の駆逐艦八隻を急遽攻撃側に組み入れたことが悲劇の原因のひとつでありました。また、新しく装備された九十センチの探照灯が余りにも強い光源であったことも災いしました。演習開始から間もなく悲劇は起こるのです。闇の中を甲軍・乙軍とも進み近づきます。突然甲軍の軽巡洋艦「龍田」(たつた)の九十センチ探照灯が乙軍の巡洋艦を捕らえました。これを避けるべく面舵で急速反転する軽巡洋艦「神通」(じんつう)は後続の駆逐艦「蕨」(わらび)に、続く軽巡「那珂」(なか)は後続の駆逐艦「葦」(あし)と接触。「神通」は駆逐艦「蕨」のほぼ中央に激突。ボイラー破裂で「蕨」は真っ二つになり沈没。二分後には「那珂」が駆逐艦「葦」の艦尾に激突。艦尾を失った「葦」はただただ浮いているだけの状態。ここで演習中止、捜索が行われましたが「蕨」の乗組員のほとんどが艦と共に海底へ、「葦」の乗組員も海に投げ出され犠牲となりました。その後「葦」は曳航されようやく舞鶴に到着。この悲劇で百十九名の命が失われました。海軍はこれを美保関沖事件として秘匿しました。

## 《責任を取らない上層部》

この事故は偶然だったのでしょうか。事故が起こることも予想され、駆逐艦八隻の防御側から攻撃側への急遽なる配置換えを危ぶみ、意見具申したのが水雷戦隊参謀の小澤治三郎中佐でした。しかし、高橋三吉参謀長と加藤寛治司令長官は、「高速で動

観念でレフリーのごとく立ち回るルーズベルトはロシアに賠償金を支払わせることなく収めました。憤った国民の一部は日比谷の交番を焼き討ちしたりしました。(日比谷焼き討ち事件)

## 《仮想敵国とオレンジプラン》

ルーズベルトは、近い将来日本は必ず太平洋に躍り出てくるであろうと予測し、対日本の計画を立てます。開国五十年ほどの日本を「恐ろしき国」の思いを強くした「オレンジ色で識別された」仮想敵国政策です。

話を進めます。時は流れて大正十年(一九二二)に軍縮会議が開かれました。日本の躍進を危ぶむアメリカは、いち早く日英同盟を反古にし、白人国家を優先する企てを考案します。ワシントン軍縮会議で、米五・英五・日三の主要艦艇比率を決定しました。もし、日米が戦えば軍艦の比率から劣勢に立たされることは当然です。ここで海軍が考案したことが「休日返上の猛訓練」でした。これは「月月火水木金」と言われ、軍歌にもなりました。「海の男の艦隊勤務、月月火水木金・・・」はいまでもご存知の方も多いいはすです。

## 《人だかりの砂浜》

昭和二年八月二十二日、新鋭の旗艦長門を軸に、六十三隻の連合艦隊が美保関に集結しました。世界に冠たる連合艦隊が山陰に来るということで鳥取・鳥根は沸きに沸き、人だかりの砂浜にはにわかには露店が立ち並び、臨時列車も運行されたとか。上陸した水兵さんたちは大もてで、すずき五十本・大量のスイカ、元気のつく「すっぱん」まで差し入れと言う始末。漫画家の水木しげるが五歳の時この光景を目にしそれを描いています。(空母「赤城」も描いています。昭和二年の「赤城」の飛行甲板は三層になっており、水木の描いた「赤城」は真珠湾攻撃時の一枚甲板で、明らかに間違いです)

き回れる軽巡洋艦・駆逐艦で組織した水雷戦隊によっていち早く敵主力艦を葬ることが勝機をもたらす。そのために訓練の機会を与えたい。」と言う理由だったようです。大きな犠牲を出したにもかかわらず司令長官は更迭されませんでした。

「神通」の艦首に船体を切断され沈没した「蕨」の母港は九州佐世保でした。乗組員のほとんどが九州出身でしたが、都合上舞鶴で合同の葬儀が営まれました。この葬儀に参列した三歳の子どもが「蕨」の五十嵐恵艦長の息子邁(すぐる)氏でありました。邁氏は父の人生を検証しようと試み、未だ生存し、事件を知っている方々の取材を続け、それを一冊にまとめました。『黒き日本海に消ゆ』を講談社から昭和五十三年に出版されて二十数年が経った頃、もと文藝春秋の編集長の熱心な勧めもあり、タイトルを改め平成十七年に河出書房文庫の新刊「美保関のかなたへ」として出版されました。

## 《美保関事件と慰霊》

その後この事件を起こした軽巡洋艦の「神通」の水城艦長は、軍法会議の沙汰を待たず早朝自決します。「神通」の水城艦長を合わせた百二十名の犠牲者を美保関の慰霊塔はお祀りしています。その慰霊と、海中に沈んだ「蕨」が水中ドローンで見えられた話や沈没地点がわたしの住む家の海の沖合い二十二キロであり、ご奉仕しています。竜神祭(海の神様への祭り、毎年十一月十五日斎行)に合わせて慰霊祭を執り行ったことなどを次回お話しします。



巡洋艦 神通





猿田彦を先頭に神社を出る



先導総代



神幸祭スナップ集



御影本町6丁目 御旅所祭



警備奉仕:御影連合会・青年会

令和三年下半期日記抄

- 八月 一日 月次祭
- 二十一日 神幸祭打合せ会
- 九月 一日 月次祭
- 十二日 神幸祭打合せ会



工事前の石畳

参道石畳改修工事

- 七月 一日 月次祭
- 二日 神道政治連盟兵庫県本部  
代議員会  
於:楠公会館 宮司出席
- 十八日 夏祭・崇敬会大祭  
参列三十七名
- 同日 神幸祭打合せ会
- 二十二日 より 八月十三日の間



石畳工事の様子



大正12年 敷石(石畳)寄進碑  
鳥居前西側にあります

- 十月 一日 月次祭
- 七日 神道政治連盟兵庫県本部役員会  
於:兵庫県神社庁 宮司出席
- 十日 例祭・神幸祭  
参列四十三名
- 十二日 兼務社(西平野)厳島神社例祭
- 二十四日 西之町 富玉稲荷 例祭
- 二十五日 神社庁神戸市支部東灘部会  
先賢慰霊祭 於:綱敷天満神社  
宮司・職員出席
- 二十七日 兵庫県神社庁神戸市支部総会  
於:楠公会館 宮司出席
- 十一月 一日 月次祭
- 十九日 神道政治連盟兵庫県本部役員会  
於:兵庫県神社庁 宮司出席
- 十二月 一日 月次祭
- 四日 責任役員会
- 十八日 神道政治連盟時局講演会  
於:楠公会館 宮司出席
- 三十一日 年越「大祓」・除夜祭



# 令和三年度 下期 祭礼等奉賛者御芳名

崇敬会大祭・例祭など、例年特別の玉串料並びに献備品が数多く奉獻せられ、御神徳を景仰される方々によって、逐年、神威の高揚と社頭の隆昌とを仰ぎますことは御同慶にたえません。ここに御篤志の方々の芳名を録し、厚く感謝の意を表します。

七月十八日 崇敬会大祭 〔玉串料〕	中御影地車保存会	東町区自治会	赤松徳子	岡野安雅	藤原和久	安達正時	池田英代	鍵田武志	相馬武正	田中艶子	高橋義一郎	夏原祐郎	橋本祐子	盛山正仁	安井俊彦	一原裕継	慶原純子	
十月十日 例祭・神幸祭 〔幣帛料〕	御影本町五六自治会	藤原久	〔玉串料〕	兵庫県神社庁	神戸市支部	勸香雪美術館	東町区自治会	安達秀則・文子	上御影協力会	郡家地区自治会	中御影地車保存会	福永和史	山下久重	和田利重	奥野澄雄	田口多津	奥野澄雄	西御影親和会

## 令和四年 上半期行事予定

一月 一日 歳旦祭	三月 一日 元始祭	五月 一日 月次祭	七月 一日 月次祭	九月 一日 月次祭	十一月 一日 月次祭
一月 十四日 御保岐祭	三月 十四日 御保岐祭	五月 十日 月釜 (裏千家・西川宗美)	七月 十日 月釜 (裏千家・山田宗庸)	九月 八日 月釜 (裏千家・山田宗庸)	十一月 十二日 月釜 (裏千家・大井宗紅)
一月 十五日 「とんとん」	三月 十五日 「とんとん」	五月 三日 春季大祭	七月 三日 春季大祭	九月 四日 地車祭(地車宮入)	十一月 三十日 夏越「大祓」
一月 三十日 祭礼打合せ 初会	三月 三十日 祭礼打合せ 初会	五月 三十日 祭礼打合せ 初会	七月 三十日 祭礼打合せ 初会	九月 三十日 祭礼打合せ 初会	十一月 三十日 祭礼打合せ 初会

於：神社社務所  
氏子各地区代表 御影連合会

二月三月の 月釜は 中止です

### 厄除祈禱の御案内

厄除の御祈禱は新春から節分頃迄にお受けになれるのがよいでしょう。

受付時間は朝9時半～午後4時です。

ご都合の良い日にご参拝下さい。

お祓いを受け大神様のご加護を賜り清々しい気持ちで1年をお過ごし下さい。

御祈禱料は8千円(以上御志納)

尚、ご夫婦ともに厄年でご一緒に御祈禱の場合には1万2千円(以上御志納)とさせていただきます。

### 令和4年 (壬寅) 厄年にあたる人

男性			前厄	女性			
昭和38年生 (1963)	昭和57年生 (1982)	平成11年生 (1999)		昭和38年生 (1963)	昭和62年生 (1987)	平成3年生 (1991)	平成17年生 (2005)
60歳 卯(うさぎ)	41歳 戌(いぬ)	24歳 卯(うさぎ)	60歳 卯(うさぎ)	36歳 卯(うさぎ)	32歳 未(ひつじ)	18歳 酉(とり)	
昭和37年生 (1962)	昭和56年生 (1981)	平成10年生 (1998)	61歳 寅(とら)	37歳 寅(とら)	33歳 午(うま)	19歳 申(さる)	
61歳 寅(とら)	42歳 酉(とり)	25歳 寅(とら)	61歳 寅(とら)	37歳 寅(とら)	33歳 午(うま)	19歳 申(さる)	
昭和36年生 (1961)	昭和55年生 (1980)	平成9年生 (1997)	62歳 丑(うし)	38歳 丑(うし)	34歳 巳(み)	20歳 未(ひつじ)	
62歳 丑(うし)	43歳 申(さる)	26歳 丑(うし)	62歳 丑(うし)	38歳 丑(うし)	34歳 巳(み)	20歳 未(ひつじ)	

〔献酒〕	和森森福馬笹北植一山夏谷田高鍵池青藤藤中(株)田奥	森下永場喜美	福永和世	馬場喜美	笹木秀樹	北田建成	植田裕久	山原敬直	夏原房次郎	谷田雅夫	田中義志	高橋武裕	鍵田英和	池田裕和	青山俊子	藤原久隆	藤野隆尾	中野谷津雄	奥野澄雄	西御影親和会
------	---------------------------	--------	------	------	------	------	------	------	-------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------	------	--------

〔献品〕	徳島県・岸野申嗣	新米 三〇キ	兼清正幸	関西電気商会	交通安全協会	弓場田村春樹	弓場杉下育弘	弓場濱田智司	御影西町地区青年会	御影西町地区自治会	御影西町地区青年会	西御影地車保存会	中御影地車保存会	上御影青年会	平野地車保存会	郡家地区青年会
------	----------	--------	------	--------	--------	--------	--------	--------	-----------	-----------	-----------	----------	----------	--------	---------	---------



**とんどのお願い**

当社では一月十五日に、正月のび飾りや古札のお焼上げをしております。環境問題並びに後片付けの負担もごさいますので、左記の時間厳守に御協力下さいますようお願い申し上げます。

〔記〕  
一、日時 一月十五日(土)  
午前九時～午後三時  
※ 時間外のお預かりはいたしません。又、受け付け出来ない物はお持ち帰りいただきます。

**鳳輦奉仕者 御芳名**  
令和三年度当番 弓場区

先導総代  
濱田 智司

猿田彦  
西村 忠博

鳳輦輿丁  
田村 春樹  
友枝 勇樹  
杉下 育弘  
西村 和也  
堤 正一  
淵上 政彦  
平田 佑輔  
小田 恵三

神社高張  
仲井 桐司  
釘宮 一勢  
三木羽亜人  
根元 大樹

社名旗  
古屋敷洋平  
松本 祐典

御先太鼓  
竹松 義紘  
植木 敬  
辻 裕信  
山本 政博

紫駱  
山田 智弘  
高瀬 庄造  
佐藤 昭三

菅駱  
合志 彰  
加藤 雅彦  
村上 啓

神饌唐櫃  
淵上 翔貴  
西本 海人  
小田 翔太

神社小旗  
田村 さえ  
八若 ゆみ